



～2024-25年度主題～

国際会長 シアナヴァスカーン (インド) "Together for better world"
 アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウオン (香港) "Make a Great Impact"
 東日本区理事 山田公平 (宇都宮C) "Our Future Direction"
 湘南・沖縄部長 久保勝昭 (横浜つづきC) "共に出会い、共に喜びを!"
 クラブ会長 鈴木 茂 "受けるよりも、与えるは幸いななり"

～今年度クラブ役員～

会長 鈴木 茂
 副会長 坂口 直樹
 書記 大野 君枝
 会計 鈴木 恭子
 直前会長 今城 高之
 監事 辻 剛

今月の聖句

喜ぶ人と共に喜び、

泣く人と共に泣きなさい。

(ローマ信徒への手紙 12章15節)

謹賀新年

《巻頭メッセージ》

岡田美和

年賀状ありがとう、人との繋がり



正月元旦が今年もやってきました。元旦の楽しみ、幸せは二つあります。

一つは我が家で家族みんな集まり、飲んだり食べたりおしゃべりしたり、楽しく幸せな時を過ごします。そしてもう一つは年賀状を見ること、読むことです。

そこで年賀状のことを話したいと思います。

50年・60年も前から元旦に年賀状が届く人がたくさんいます。会うこともなく電話などもなく、年に一度の年賀状が届くのです (近況など書いた)

例えばこんな人たちです

- 高校時代の友Aさん 卒業60年以上
- 教え子のMさん おとなしく目立たない子どもでしたが、今は4人の孫とマラソンしたりパン作りを楽しんでいます。
- 教え子のI君 能力が素晴らしいが、体育は参加せず、手のかかる子でした。今は素晴らしい研究者です。
- 子育て時代のママ友Nさん 我が家でよく遊んだりお世話になりました。
- 教員時代の若い教師Sさん 非常に苦勞の多い心細い若い先生でした。本当に何時も励まし続けました。今では5人の孫に囲まれています。
- 教え子のおばあちゃんSさん お嫁さんが急に孫をおいて出て行ってしまい、それからずっと孫を育てました。今では孫も立派な社会人です。

年賀状一枚の長い繋がり

その一枚の年賀状で、懐かしいというより、その時のままで伝わってきます。60年経とうと、何年経とうと、あの時のあの人のらしさが伝わって来ます。

年賀の字も、何処かあの頃と同じようです。

私も年賀状があるから、一年に一度の便りにより温かい気持ちになります。

年賀状は大好き！ ありがとう

大切な人との繋がり 豊かな長い時の歩みが思われて、いろいろつたわってきます。"いつも みんな いっしょ"

年賀状も今ではメールやスマホになってきていますが、やはり年賀状がいいな。

(完)

1月本例会

日時 1月24日 (金) 17:30～

場所 かけはし都筑

司会 大野君枝 受付 辻 剛

～議事次第～

- 1.開会点鐘 会長
- 2.ワイズソング・信条 一同
- 3.今月の聖句と祈祷 担当主事
- 4.会長挨拶・ゲスト紹介
- 5.クラブ総会
次期役員選出他
- 6.卓話 二宮 威重(たけし) さん
演題：『口腔ケアで元気に暮らそう』
- 7.協議・検討事項
- 8.今後の各種行事について
- 9.YMCA報告
- 10.アピール等
- 11.Happy Birthday
水谷裕子さん (1/18)
- 12.閉会点鐘 会長

※閉会后会食会を行います。
奮ってご参加ください



"To acknowledge the duty that accompanies every right"

《2024年度横浜YMCAクリスマス礼拝 報告》

鈴木 茂

日時：2024年12月21日（土）13:30-15:30
 会場：日本バプテスト同盟 日本バプテスト横浜教会
 出席者：会場107名、オンライン28名
 プログラム：一部・礼拝、二部・ハンドベル演奏

今年の横浜YMCAクリスマス礼拝は、初めて横浜市中区寿町に所在する日本バプテスト横浜教会で開催されました。会場には、横浜YMCA会員、スタッフ、来年度採用内定者を含む100名を超える出席者があり、恵まれた礼拝でありました。コロナの打撃が薄らいできたという印象も強く受けました。

第一部の礼拝では、ルカによる福音書1章：26-38節に基づき、日本バプテスト横浜教会の大矢誉生牧師から、「わたしは主のはしためです」と題するメッセージがありました。御子イエスの誕生という天使からの驚きの告知に対し、戸惑いつつも、自分は神様の下働きであり、神様に自

分の生命を明け渡しますと告白したマリアの信仰こそ、クリスマスの大切なメッセージであるとお話がありました。

讃美歌264「きよしこの夜」と263「あら野のはてに」の合唱では、横浜YMCA混声合唱団が会衆をリードし、参加して下さいました。また、「きよしこの夜」の讃美歌合唱の際には、横浜YMCA保育園の園児たちの手話動画がスクリーンに映写されました。

第二部は、恒例の「横浜YMCA Port Friends」によるハンドベル演奏が行われ、団長・千葉 仁氏の指揮のもと、「歓喜のカリヨン」、「チャルダッシュ」、「コヴェントーキャロル」、「クリスマス組曲」等の美しい音色が披露されました。

礼拝の中で、世界と日本を問わず、恵まれない子どもたちを支援する「横浜YMCA国際・地域協力募金」への献金が行われました。今回のクリスマス礼拝も、世界の平和を目指して活動するYMCAの使命の大切さを再認識させられる機会でありました。 (以上)

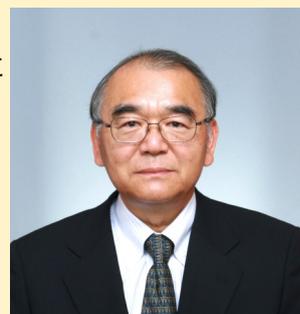
ご案内

2月のクラブ本例会（2月28日（金）鎌倉ワイズメンズクラブの兵藤芳朗会長をお招きし「錦鯉と鎌倉」（仮題）をテーマに卓話をして頂くことになりました。

～兵頭芳朗さん略歴～

1975年3月 早稲田大学政治経済学部卒、
 1971年9月～1973年6月 ワシントン州立大学留学、
 1975年11月 鎌倉市役所入職、
 2009年12月～2011年12月 鎌倉市副市長、
 2022年4月～ 早稲田大学評議員、
 2023年4月～ 社会福祉法人神奈川県市町村社会

福祉協議会会長、
 2012年6月～ 鎌倉車いすと共に歩む会会長、
 2025年7月～2026年6月 湘南・沖縄部部長就任予定。



ご案内

3月の本例会（3月28日（金）で卓話をして下さる

山本俊正（やまもと としまさ）さんの略歴です。

1952年、東京生まれ。立教大学法学部卒。東京YMCA主事（1977～85）米国・カリフォルニア州、バークレー太平洋神学校留学（1988年、神学修士）米国・合同メソジスト教会・カリフォルニア／パシフィック年会にて按手（正教師）同教団・年会任命により、ハワイ州、ハリス合同メソジスト教会にて副牧師（1988～1992）同教団派遣宣教師として日本キリスト教協議会（NCC）国際協力担当幹事就任（1993年3月）、第35NCC総会にて総幹事に選出される。（2003年3月）総幹事に再選（2006年3月）NCC総幹事を退任

（2008年3月）関西学院大学商学部教授・宗教主事に就任（2008年4月）、同大キリスト教と文化研究センター長（2017年4月）、院長補佐（2013年4月）、宗教総主事（2019年4月）を歴任。関西学院大学を定年退職（2020年3月）現在、アジア学院理事長（2022年4月～）日本YMCA同盟会長（2023年7月～）



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

北YMCA便り

横浜北YMCA 館長 森山 真治



明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願いいたします。

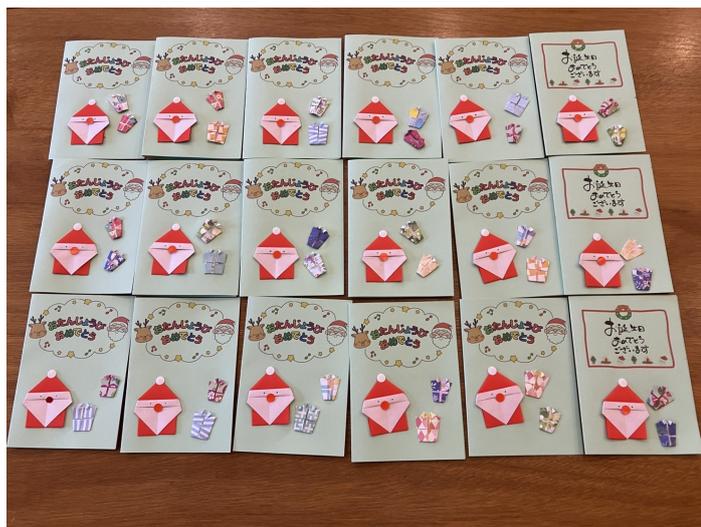
寒い日が続いておりますが、皆様、体調管理、感染対策には、充分お気をつけください。

さて、横浜YMCAでは、12月26日から29日（日）まで、志賀高原スキー場でスキーキャンプ、12月26日から28日（土）まで、富士山YMCAで雪遊びキャンプを実施し、約200名の子ども達が白銀の世界で、雪遊びやスキーを楽しみました。

横浜北YMCAのスタッフが引率をしたキャンプは、県下のメンバー34名、リーダー6名、スタッフ1名の計41名が参加しました。

キャンプの初日は、休憩を入れながら、約8時間バスに揺られながら、車内ではバスレクをして楽しくスキー場を目指しました。2日目と3日目は、曇り空の中、約50cmの積雪のゲレンデで、子ども達が楽しみにしていたスキーを行いました。初めての子ども達から経験者まで、レベル別の少人数グループに分かれ、段階的にレッスンを行います。初めてスキーをする子ども達は、初めて触れる雪に感動しながら、緩斜面を滑りました。午後は吹雪で気温が下がりましたが、寒さにも負けず、何度も挑戦していました。3日目は、練習の成果を評価するYMCAスキーワッペンテストを行いました。朝から緊張している様子の子もいましたが、3日間のスキーレッスンの成果を発揮していたと引率をしたスタッフが楽しそうに話してくれました。

コロナ禍で、幼少期の自然体験の機会が重要であることが改めて明らかになり、年々参加者も増加しています。YMCAのキャンプは体験学習として、様々な経験を通して、学校では学ぶことができない貴重な学びが、子ども達の人生の糧となるよう、これからも大切にしていきたいと思っております。



TKB便り

12月のお誕生カードの絵柄は、勿論、サンタさんです。つばめの杜保育所のちびっこ達、みやま荘のおじいちゃん、おばあちゃんたちが素敵なクリスマスを迎えられるよう祈りながらカード作りに励みました。東日本大震災発災から今年の3月で14年になります。初めてつばめの杜保育所をお訪ねしたところの子どもたちは、今や中学生です。月日の経つのが本当に早いことを思い知ります。その間に、東日本各被災地の復興はどこまで進んだのでしょうか。見かけだけではなく、被災された皆さんのお心が本当に癒されたのか気になります。

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

事務例会報告

2025年1月度事務例会

今城高之 記

日時 2025年1月14日(火) 17:00~19:30

場所 夢Café

出席者 今城T・I、大野、岡田、坂口、鈴木K・S

辻Ta・Ts、森山担当主事 (以上10名)

1. 鈴木会長による点鐘と祈祷で、本年最初の例会を開会。鈴木会長からは、後半も、各位健康に留意して活発な活動を進めたいとの所信が表明された。

2. 協議事項

1) 2025-26年度クラブ役員人事

先に行われたクラブ役員会にて合意のあった次期役員人事案が会長から提案された。既に決定している次期会長(坂口さん)、直前会長(鈴木さん)候補と合わせ、1月24日のクラブ総会に上程し決定の予定。新たに決まった候補は次の通り; 副会長:今城T、書記:今城H、副書記:岡田、You&I会計:大野、監事:辻Ts

2) 2024-25年度各種献金

区が提示する目標を基に、会長案が示された。様々な意見が交わされ、結論として、予算6万円の枠内で、区提示目標にとらわれず、出来るだけ、多くの項目をカバーすることとなった。結果以下の通り;

CS:12,000円、ASF:0、FF:8,000円、BF:0、TOF:12,000円、RBM:8,000円、YES:8,000円、Youth支援:12,000円

3) 国際会長選挙

エルトヴィック氏(ノルウェー)を推す鈴木会長提案を了承した。

3. クラブ行事予定 (以下特記事項のみ)

1) 1月本例会とクラブ総会:1月24日(金)

卓話は、歯科医二宮威重氏

2) 2月の事務例会は都合により、1月18日開催に変更。

3) 2月本例会(2月28日@かけはし都筑)では、鎌倉クラブ会長兵藤芳朗氏の卓話が予定されている。(本文2頁参照)なお、当日、ピンクシャツデーの記念撮影をするため、「ピンク」を身に着けること。

4) 3月の本例会(3月28日)では、日本YMCA同盟山本俊正氏の卓話が予定されている。

5)恒例の北YMCA,つるみクラブとの交流会が5月10日に予定されている。

6)5月16-17日(金・土)に富士山例会を行う予定。実施の詳細については今後至急詰めることとなった。

7)今後の卓話予定

4月:山口直樹氏(東京武蔵野多摩C)

6月:黄 崇子氏(横浜YMCA常議員会議長)

4. その他の行事日程

1)1月18日開催予定のY-Y's合同新年会に先立ち、16:00より中央YMCAで湘南・沖縄部の臨時評議会が開催される。議題は、春の部交流会の日程変更について。当クラブは、鈴木会長、坂口副会長、辻部監事、今城T部主査が出席対応。

2)3月4日(火)にY-Y's協議会が開催される。鈴木会長他が出席の予定。

2月14日に都筑社協の「ふれあい助成金」説明会が開催される。鈴木会長、今城Tが出席の予定。

5. 閉会

鈴木会長の閉会点鐘に続き、用意した弁当を頂きながらの懇親のひと時を持った。弁当代の余剰分8,800円をスマイルとして計上する。

(了)

ご案内

来る2月11日(火・休日)には、横浜YMCA会員大会~ピースフォーラム~が開催されます。

日時 2月11日(火・休日) 10:00~12:30

場所 湘南とつかYMCA

プログラム

9:30 受付開始

10:00 開会礼拝

10:10 開会挨拶 工藤誠一 横浜YMCA理事長

10:15 特別講演 絵本作家・画家 浜田桂子氏

11:45 広島ピースキャンプ報告

12:15 閉会 挨拶 佐竹博 横浜YMCA総主事
特別講演の演題は、「絵本から学ぶ - 平和ってどんなこと」で、平和を考える絵本の制作に3年以上の歳月を費やし、日本、中国、韓国との意見交換を積み重ねた絵本作家 浜田恵子氏より、各国の歴史を踏まえて実現した取り組みや経緯などを伺います。

奮ってご参加ください。

なお、参加希望の方は、右のQRコードから申し込んで下さい。

(2月3日締め切り)



"To acknowledge the duty that accompanies every right"